

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第 1 回中央地区まちづくり会議				
事務局 (担当課)		中央区役所 中央 6 地区まちづくりセンター 電話 0 4 2 - 7 0 7 - 7 0 4 9 (直通)				
開催日時		令和 3 年 5 月 1 1 日 (火) 1 8 時 0 0 分 ~ 1 9 時 4 0 分				
開催場所		中央公民館大会議室				
出席者	委員	2 3 人 (別紙のとおり)				
	その他	6 人 (中央区長・中央区副区長・中央区役所区政策課長・中央区役所参事兼地域振興課長・中央区役所区政策課 2 人)				
	事務局	3 人 (中央 6 地区まちづくりセンター)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
議 題		1 開 会 2 区長あいさつ 3 役員選出 4 会長あいさつ 5 委員自己紹介 6 事務連絡 (1) 中央区基本計画について (中央区役所区政策課) (2) まちづくり会議について (3) 地域活性化事業交付金について 7 議 題 (1) 中央地区の課題に対する取り組みについて (2) その他 8 閉 会				

議 事 の 要 旨

主な内容は次のとおり。(は委員の発言、 は事務局の発言、 は担当課の発言)

1 開会

令和2年度中央地区まちづくり会議会長の牛尾委員からあいさつをした。

2 区長あいさつ

田野倉中央区長からあいさつがされ、中央区役所の職員が紹介された。

3 役員選出

中央地区まちづくり会議会則第7条に基づき、令和3年度役員について、次のとおり決定した。

役員名	氏名
会長	牛尾 良一
副会長	徳田 文夫
副会長	岡本 和茂

4 会長あいさつ

令和3年度中央地区まちづくり会議会長に就任した牛尾委員からあいさつをした。

5 委員自己紹介

令和3年度中央地区まちづくり会議委員より自己紹介をした。

6 事務連絡

(1) 中央区基本計画について(中央区役所区政策課)

中央区基本計画について中央区役所区政策課より説明をした。

主な意見・質疑

○まちづくり会議と区民会議の連携はどのようにされるのか。

現在、区民会議の中で中央区基本計画のどの部分を重点的に取り組むかを議論している。また、各地区まちづくり会議の中からも委員が出席しているため、各地区で議論された地域課題を区民会議出席委員を通じて区民会議に反映することで連携をしているところである。

○私(会長)が中央地区まちづくり会議を代表して区民会議に出席しているため、中央区に対して中央地区の意見を伝える義務を負っていると思う。この

ため、委員においてはまちづくり会議の中で活発な意見をいただきたい。

○取り組みに関して具体的なものはないのか。

区民会議の中で重点的な取り組み内容を決定後、より具体的な取り組み方法を議論していく予定のため、もうしばらく議論の時間をいただきたい。

○基本計画があるということは、実施計画もあるのか。

相模原市総合計画には実施計画が存在するが、中央区基本計画においては、区民会議の中で具体的な取り組み方法を検討していく。

○区民会議で取り組み方法を検討することは理解したが、その結果をどのように区民に対して示していくつもりなのか。

区民会議の検討結果についてはまちづくり会議で説明を行ったり、また、広報などあらゆる手段を用いて周知を行うつもりである。

○是非、区民にとって分かりやすいかたちで周知をしてほしい。

○中央区のビジョンとしてはよく理解できるが、一方で、具体的にどのように取り組むかということが重要になってくる。このため、是非、取り組み方法についてもしっかりと周知をしていただいて、次のステップに繋がれたらよい。

○繰り返しになるかもしれないが、具体的な取り組みの結果や成果については、計画期間の最後の年に周知されても意味がない。このため、たとえば、一年のうち四半期ごとに結果を周知するというやり方にすればよいのではないか。

まず、具体的な取り組み成果を確認するため、区民に対して計画期間中の最初と中間と最後にアンケートを実施し、結果を公表していく予定でいる。しかし、それ以上に詳細な結果の公表、たとえば年度ごとに複数回の公表などは予定していないため、今後については、区民の方により分かりやすく伝えるための努力を続けていきたい。

(2) まちづくり会議について

事務局より、資料に沿って、まちづくり会議の概要について説明した。

(3) 地域活性化事業交付金について

事務局より、資料に沿って、地域活性化事業交付金の説明をした。

主な意見・質疑

○現在のコロナ禍では事業計画の見通しが立たず、事業が実施できたとしても、新型コロナウイルス感染症の状況をみて判断するため、年明けや年度末あたりに実現できるものが多いと思う。しかし、地域活性化事業交付金の運営をみると事業実施年度の10月末までに申請とあり、期限が早いため現実的には申請が困難な場合が多いと感じる。このため、事務局でも申請期限をもう少し長く設定するな

どして、申請者が利用しやすくなる方法を検討してもらいたい。

まず、地域活性化事業交付金については単年度補助金であり、事業実施年度に申請から交付、事業完了まで一貫して完結する必要がある。また、運用については事業実施年度の10月末までと記載しているが、これは、当該時点で地区ごとの執行状況を把握して、中央区内で地区間の予算流用措置を取り多くの事業を執行できるようにするために便宜的に設定している〳切期限である。つまり、10月末を過ぎても、地区ごとの配分予算に余裕があれば申請自体は可能だが、先ほど述べたように当該交付金が単年度補助金であるため、10月末以降の申請だと残りの期間で申請から事業完了まで行ってもらはなくてはならず事業実施者にとっても非常にタイトなスケジュールとなる。その条件さえ踏まえてもらえれば申請いただくことは問題ない。

○一つ提案になるが、最近では商店街などで何かイベント等を実施するにあたり、地域住民から警備をする人を出しても素人では警察から認められないこともある。このため、たとえば、地域の活性化事業において全ての面で補助してもらうつもりはなくとも、警備などの一部分に対してだけ補助をしてもらえるような運用にしてもらえるとありがたい。

7 議 題

(1) 中央地区の課題に対する取り組みについて

事務局より、資料に沿って、令和3年度の中央地区の課題に対する取り組み内容について説明した。その際に、令和3年度も昨年度から継続して3つのプロジェクトチームで進めていくこと、次回まちづくり会議までに今年度実施する課題の優先順位を各自考えてきてもらうこと、各委員の今年度の所属チーム(案)について意見を募った。

主な意見・質疑

○課題については概ねよいが、今後解決にあたって進めていく際には、地域におけるリーダー的存在をいかにして発掘していくかということが共通の重要なテーマになってくる。

○まちづくり会議は任期が1年しかないため、この場で全て解決しようとするのは難しい。このため、それぞれの課題に対して現状を理解するという意味で、課題の調査に時間を掛けてもよいと感じた。また、解決にあたっては、たとえば、地域の一か所に対して自治会連合会や地域活性化事業交付金の予算を使用することは意見も出るところだと思うが、何か実行しなければ何もしないだけなので、予算の使い方についても全体で考えていきたい。

○自治会のない相模原5丁目はごみに関する問題は出ていないのか。

○従来からの捨て場所や方法でゴミ捨てはなされているから、現在は特にその住民も困り感を抱いていないが、今後、新規でゴミ・資源集積場所を設置する時などは、現状市の制度上、当該区域の自治会長に確認してもらうかたちを取っているため問題は生じる可能性はある。

○矢部駅前の商店街が夜間の戸別収集になった当時の新聞を発見した。当時の認識では当該商店街をきっかけとして、その後、他地区にも広がるものと捉えていたが、実際は広がりを見せていない。このことについて、事務局で調べてほしい。今回、昨年度各チームで話した内容を事務局でまとめてはみたが、本日の会議でも意見があったように、まだ課題の範囲が広いと感じている。次回会議までに、既出課題の深堀も含めて、各委員が考えて持ち寄ってほしい。

結果

- ・今後の進め方として、昨年度の3つのプロジェクトチームを継続することについて承認された。
- ・次回会議（6月15日開催予定）までに、各チームの複数個の課題の中から、各自が取り組みの優先順位を決めて持ち寄り、次回会議にて、取り組みの優先順位を議論して決定することについて承認された。
- ・各プロジェクトチームのチーム編成については、案のとおり承認された。

(2) その他

今後の中央地区まちづくり会議の日中開催の可否について、委員に意見を募った。

結果

日中は仕事をしている委員も複数名いたため、引き続き、平日の夜間に実施することになった。ただし、今年度はまん延防止等重点措置の適用の有無に関わらず、毎回18時開始に変更することに決定した。

8 閉会

徳田副会長から閉会のあいさつをした。

令和3年度 中央地区まちづくり会議委員名簿

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	牛尾 良一	中央地区自治会連合会	会長	出席
2	中川 清一	中央地区自治会連合会		欠席
3	徳田 文夫	中央地区社会福祉協議会	副会長	出席
4	根岸 泰子	中央地区民生委員児童委員協議会		出席
5	八木 憲哉	中央地区民生委員児童委員協議会		出席
6	熊沢 憲一	中央地区老人クラブ連合会		出席
7	岡野 博	中央地区青少年健全育成協議会		出席
8	松田 正則	中央地区健康づくり普及員協議会		出席
9	東使 敏二	中央地区防犯協会		出席
10	増田 勝也	交通安全協会		出席
11	保留	中央地区連合自主防災隊		
12	松本 勇作	中央小学校 PTA		出席
13	梅林 巖	弥栄小学校 PTA		欠席
14	佐藤 匠	富士見小学校 PTA		欠席
15	岡本 和茂	中央公民館	副会長	出席
16	浦上 裕史	中央地区内商店街		出席
17	澤畔 正裕	中央高齢者支援センター		出席
18	秋葉 秀二	公募委員		出席
19	井之上 久	公募委員		出席
20	倉澤 良明	公募委員		出席
21	小澤 隆宏	公募委員		出席
22	鳥海 千秋	公募委員		出席
23	中里 良治	公募委員		出席